

令和6年度 第10回全体庁議（1月30日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(16) 帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画 (後期計画) (原案) について [学校教育部]
----	-------	--------------	---

■ 提案・報告の趣旨

帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画(平成30年度～令和9年度)について、後期計画の策定に向けた原案を作成したことから、令和7年2月6日の経済文教委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

- 計画策定の趣旨等
 - ・目指す教育の姿
帯広市の教育基本計画の基本理念を実現するため、より良い教育環境の整備を進める。
 - ・位置付け
「帯広市小中学校適正規模の確保等に関する基本方針」の具体的な取り組みの進め方を示した計画。
 - ・計画の期間
平成30年度から令和9年度までの10年間。当初平成30年度から令和4年度までの5年間を前期計画期間、令和5年度から令和9年度までの5年間を後期計画期間と区分したが、後期計画期間は計画策定時から令和9年度までの取り組みを示す。
- 児童生徒数の将来推計
小学校児童、中学校生徒ともに減少が見込まれる。
- 前期計画期間の取り組み
 - ・大空学園義務教育学校の開校
 - ・小規模交流授業の実施
 - ・教育に関する意識調査の実施
- 適正規模の確保等に関する取り組み
 - ・後期計画期間に検討が必要な学校9校(西小、東小、花園小、森の里小、つつじが丘小、清川小、広野小、愛国小、八千代中)を抽出。
 - ・後期対象校は計画案の段階で選定。
- 適正規模の確保等に関する取り組みにあたっての留意事項
 - ・地域協議に向けた基本姿勢
 - ・より良い教育環境の整備
 - ・旧学校施設の活用方法

■ 今後のスケジュール

- ・令和7年2月6日 経済文教委員会へ原案を報告
- ・令和7年3月 パブリックコメントを実施
- ・令和7年5月～ 意見交換会の開催
- ・令和8年2月 経済文教委員会へ案の報告
- ・令和8年3月 教育委員会会議において決定

■ 審議結果

- ・同内容で、2月6日経済文教委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等

- ・特になし。